

国語 第3学年 しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう

自分の学級に合わせて直すプロンプト

下の枠の文を全部そのままAI（ChatGPT・Claude・Gemini など）に貼り、質問に答えると、この単元の学習指導案が自分の学級に合わせて直ります。枠の後半には、直す対象の学習指導案が入っています。

あなたは小学校の国語の授業づくりを手伝う役です。この後に続く「わたしの町のよいところ（第3学年）」の学習指導案を、私の学級に合わせて直してください。

先に、次の五つを一つずつ質問し、私の答えを待ってから次の質問に進んでください。まとめて聞かないでください。

一、学級の人数と、ペアやグループの組み方。

二、既習のこと。第2学年までに、書いた文章の感想を伝え合ったことがあるか。段落を分けて書くことや、わけを挙げて書くことをどこまで学習してきたか。

三、題材にできる物。学区にある場所・お店・行事・人、社会科の町探検で行った所、紹介する相手（家の人・下の学年・地域の人など）。

四、この学級の子どもの実態と、この単元に使える時間数、研究授業にする時間（何時間目か）。

五、使える道具。一人一台の端末で写真が撮れるか、文章を共有してコメントできるか、大型画面があるか、紙だけか。

五つの答えがそろったら、学習指導案を次の決まりで直してください。

学習指導要領の文言、評価規準の文言と文末（「～している」「～しようとしている」）は変えない。

教科書の例の文章は引用しない。題材の例は私が答えた物に置き換える。

時間数は私が答えた数に合わせ、削ったり足したりした時間がどれかを一覧にする。

本時の展開は、人数と道具に合わせて、活動の形（一人・ペア・グループ・全体）と使う物を書き直す。

つまりきへの手当ては、私が答えた実態に合わせて具体的に書き直す。

直した所の一覧を最後に付け、どの答えを根拠に直したかを一行ずつ書く。

文章は先生がそのまま使える言い方にし、比喩や決まり文句を使わない。

出力は、学習指導案と同じ見出しの順で全文を出してください。

直す対象の学習指導案は、この後に続けて書きます。

————ここから直す対象の学習指導案————

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名「しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう」 教材名「わたしの町のよいところ」

2 単元目標

考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解する（(2)ア）。相手や目的を意識して町のよいところから書くことを選び、内容のまとまりで段落をつくって紹介する文章を書き、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける（B(1)アイ・オ）。言葉がもつよさに気づき、思いや考えを進んで伝え合おうとする（学年の目標(3)）。

3 単元の評価規準

〔知識・技能〕①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）

〔思考・判断・表現〕①「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（B(1)オ）

〔主体的に学習に取り組む態度〕①町のよさが読む人に伝わるかを粘り強く確かめながら書き、学習の見通しをもって、紹介する文章について感想を伝え合おうとしている。

4 指導上の考察

（1）単元について

本単元は、自分たちが住む町のよいところを選び、そのわけを挙げて紹介する文章を書き、読み合って感想を伝え合う書くことの単元である。学習指導要領第3学年及び第4学年のB(1)オ「書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」を中心に、

〔知識及び技能〕(2)アの考えと理由の関係を合わせて指導する。言語活動はB(2)ア「調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」に当たる。

第1学年及び第2学年では、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること（B(1)オ）を学んでいる。本単元では、「書こうとしたことが明確になっているか」という観点をもって読み合い、友達の感想を基に自分の文章のよいところを見付ける。「よいところ」と「そう思うわけ」を組にして書くことは、第4学年で理由に事例を加えて考えを書く学習（B(1)ウ）へとつながる。社会科の第3学年で学ぶ身近な地域や市区町村の様子とも関連付けられ、町探検で見たことや聞いたことを書く材料にできる。

（2）児童について（学級の実態を書く）

（3）指導について

指導に当たっては、次の三つを大切にする。まず、紹介する相手（家の人・下の学年・地域の人など）を単元の初めに決め、相手に何を知ってほしいかを考えて書くことを選ばせる（B(1)ア）。それから、「よいところ」と「そう思うわけ」を組にして書き出させ、わけには自分が見たことや聞いたことを入れさせる（(2)ア）。そして、読み合いの観点を子どもの言葉から決め、感想カードには「いいなと思った文」を書き写してから感想を書く順にする（B(1)オ）。地域のお店や人を取り上げる時は、写真を撮る前や名前を書く前に相手の理解を得ることを指導する。

読み合いの後に、友達の感想を基に自分の文章のよいところの一つ以上挙げている物を「おおむね満足できる」状況、内容と書き方の両面からよいところを挙げ、今度書く時にいかすことまで書いている物を「十分満足できる」状況の目安にする。

5 指導と評価の計画（全10時間）

第1次 第1時：○自分たちの町にある場所・物・行事・人を思い出して出し合う。○学習課題「町のよいところを紹介する文章を書き、感想を伝え合おう」を立て、紹介する相手と学習計画を決める。評価：態①（発言・ノート）

第2次 第2時：○紹介したいものを書き出し、それぞれについて「よいところ」と「そう思うわけ」を図に広げる。

第2次 第3時：○紹介するものを一つ決め、写真や見学のメモ、家の人に聞いたことなどから、わけになることを集める。評価：知①（図・メモ）

第2次 第4時：○組み立ての例（先生が教科書から示す）を見て、初め・中・終わりに何を書くかを確かめる。

第2次 第5時：○組み立てメモを作る（初め＝紹介するもの、中＝よいところとそのわけ、終わり＝読む人へのよびかけ）。評価：知①（組み立てメモ）

第2次 第6時：○文章の例（先生が教科書から示す）を読み、紹介する文章を書く時の工夫を確かめる。○初めの段落を書く。

第2次 第7時：○中の段落を書く。よいところとそのわけを、まとまりごとに段落を分けて書く。評価：知①（下書き）

第2次 第8時：○終わりの段落を書き、読み返して間違いを直す。写真や絵を添えて仕上げる。評価：態①（文章・読み返しの記録）

第3次 第9時（本時）：○グループで文章を読み合い、よいところとわけが伝わったかについて感想を伝え、自分の文章のよいところを見付ける。評価：思①（感想カード・ノート）

第3次 第10時：○感想を基に自分の文章のよいところをまとめ、紹介する相手に届ける準備をする。○学習を振り返る。評価：思①（ノート） 態①（振り返り）

6 本時の指導（9/10）

（1）本時の目標

友達と紹介する文章を読み合い、町のよいところとそのわけが明確に書けているかについて感想を伝え合って、自分の文章のよいところを見付けることができる。（B(1)オ）

（2）学習過程

【導入】

学習活動：1 前時に仕上げた紹介する文章を手元に置き、学習計画で本時の学習を確かめる。

2 感想を伝える観点を考える。

○「町のよいところが伝わる文章には、どんなことが書いてありましたか」

【めあて】町のよいところが伝わるかを考えて読み合い、自分の文章のよいところを見つけよう。

予想される児童の反応：・よいところと、そのわけが書いてある。

・見たことや聞いたことが書いてあると、行ってみたいくなる。

・終わりに「行ってみてください」とよびかけている。

指導上の留意点：・子どもの言葉から、観点を「よいところ」「わけ（見たこと・聞いたこと）」「読む人へのよびかけ」の三つにまとめて掲示する。

・何が書いてあるか（内容）と、どう書いてあるか（書き方）の両方に目を向けることを伝える。

【展開】

学習活動：3 三人か四人のグループで、文章を順に読み、感想カードに書く。

○「この文章を読んで、いちばん行ってみたいくなったのはどこですか。どの文からそう思いましたか」

4 感想カードを渡しながらか、書き手に感想を伝える。書き手は、伝わってうれしかったことを返す。

5 全体で、友達の文章のよいところを紹介し合う。

予想される児童の反応：・公園の遊具のことに、自分が遊んだ時のことが書いてあって、楽しさが伝わった。

・「なぜかというと」の後に、わけが二つあってはっきりしている。

・写真があるので、どこの場所かがすぐに思い浮かんだ。

・お店の人に聞いたことが書いてあって、初めて知った。

指導上の留意点：・感想カードは「いいなと思った文（書き写す）」「そう思ったわけ」の二つの欄にする。

・感想が言えない子には、観点の掲示を一つずつ示し、「わけはどこに書いてあったか」から聞く。

・「おもしろかった」だけの感想には、「どの文で、どうしてそう思ったか」と返す。

・グループは、同じものを紹介した子が重ならないように先生が組む。

・端末で文章と写真を共有している場合は、コメントで感想を伝えてもよい。

・全体の紹介では、わけの書き方が違う二つの文章を取り上げ、どちらのよさも認める。

【まとめ】

学習活動：6 友達からもらった感想カードを読み、自分の文章のよいところをノートに書く。

（型）「わたしの文章のよいところは、…です。…さんが…と言ってくれたからです」

7 振り返りを書く。

指導上の留意点：・よいところは、友達の感想カードの言葉を使って書かせる。

・振り返りは「自分の文章のよいところ」「今度書く時にいかしたいこと」の二つで書かせる。

・次時は、紹介する相手に文章を届ける準備をすることを伝える。

評価：思① 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（感想カード・ノート）

（3）板書計画（縦書き・右から左へ）

右端に日付、題名、めあて。その左に、感想を伝える三つの観点（よいところ・わけ・読む人へのよびかけ）を短冊で並べ、それぞれに「内容」「書き方」の札を添える。中央に、全体で紹介した二つの文章の、わけを書いた文を拡大して並べて貼り、「なぜかというと」「～からです」などの言葉に線を引く。その左に、子どもから出たよいところを観点ごとに書き足す。左端に、自分の文章のよいところを書く型と、振り返りの観点二つ。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

